

各機関の取組事例

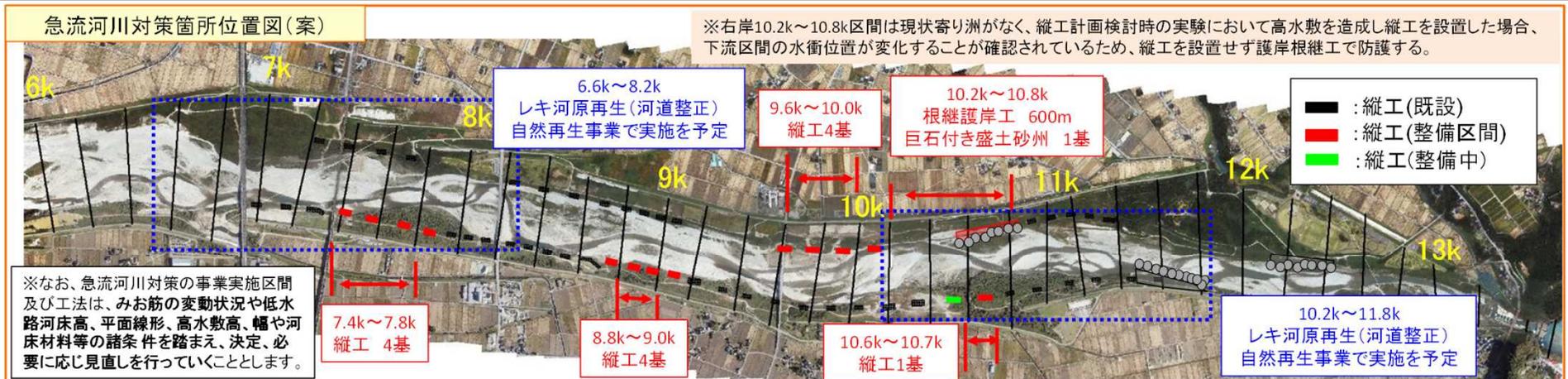
- ・黒部河川事務所 P 1～P12
- ・富山県 河川課 P 13～P16
- ・富山県 砂防課 P 17
- ・新川農林振興センター P 18
- ・富山森林管理署 P 19
- ・富山地方気象台 P 20
- ・黒部市 P 21 ～P22
- ・入善町 P 23 ～P24
- ・朝日町 P 25

(様式: 取組事例)

区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	実施機関	黒部河川事務所
メニュー名	黒部川水系河川整備計画変更		
事業・施策の名称	黒部川水系河川整備計画変更		
実施場所	黒部川		

【対策概要】

黒部川水系河川整備計画とは、概ね30年間の黒部川の整備内容を記載したもので、平成21年11月に策定した。河川の状況や最新の情報を踏まえ河川整備計画を変更することとし、具体的な施工箇所について検討し、河川整備計画(案)の作成を行った。引き続き、変更する河川整備計画の策定を目指す。



黒部川における急流河川対策工法

黒部川では高水敷化した堤防沿いの砂州(寄り州)に堤防の防護効果を期待し、河岸侵食防止工として「縦工」を整備する。



高水敷幅が狭く洗掘による河床低下に伴い護岸基礎等の浮き上がりが発生している、若しくは発生する恐れのある箇所では、根継ぎ護岸による対策を実施。



河岸沿いに連続的に洗掘が発生する区間で、既設の縦工が機能するように、要所に巨石付き盛土砂州を配置し、河道中央へ主流を向け、適切な砂州波長の確保を目指す。



(様式: 取組事例)

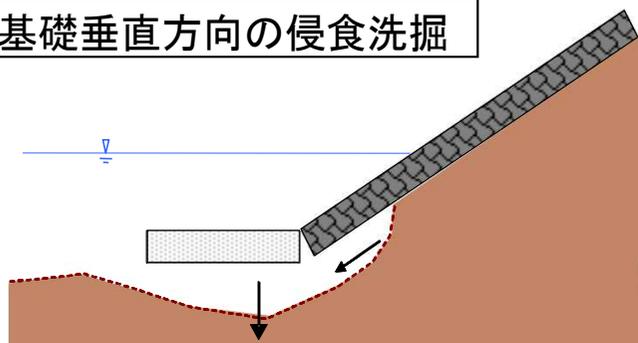
区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	実施機関	黒部河川事務所
メニュー名	急流河川対策(縦工整備)		
事業・施策の名称	黒部川河川改修事業		
実施場所	黒部川		

【対策概要】

急流河川特有の流水の強大なエネルギーに対し、河岸の洗掘・侵食に対する安全度が低い箇所において侵食対策を実施し、治水安全度の向上を図ります。

急流河川の被災メカニズム

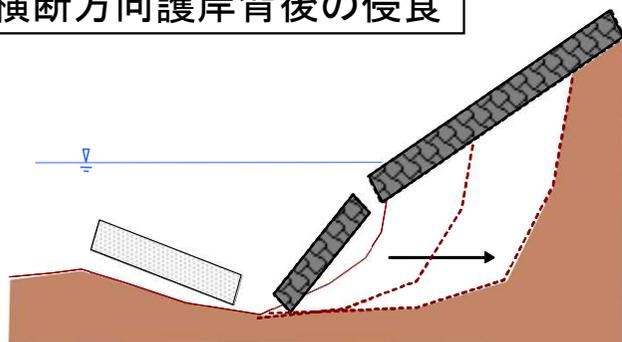
基礎垂直方向の侵食洗掘



洗掘の進行



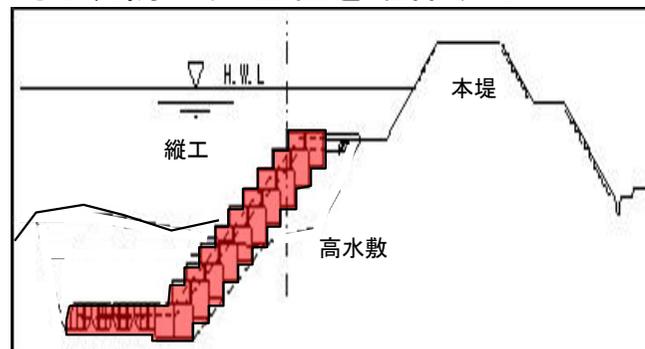
横断方向護岸背後の侵食



侵食の拡大 → 決壊

急流河川対策

急流河川特有の洪水のエネルギーに対し堤防の安全性を確保する



縦工横断イメージ図



急流河川対策(縦工)



R5年度: 急流河川対策(縦工)の実施状況

(下立地区)

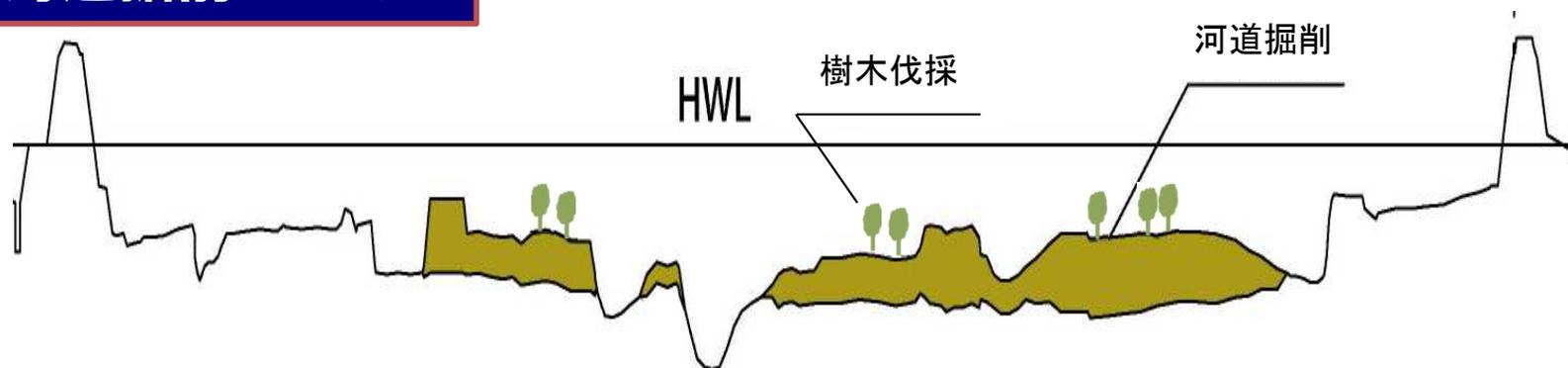
(様式:取組事例)

区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	実施機関	黒部河川事務所
メニュー名	樹木伐採・河道掘削		
事業・施策の名称	黒部川河川改修事業		
実施場所	黒部川		

【対策概要】

河道の目標流量5,200m³/s(戦後最大洪水の昭和44年8月洪水と同規模が発生した場合の流量)を流下できるよう、河道断面積を拡大するために樹木伐採及び河道掘削を実施します。

樹木伐採・河道掘削イメージ



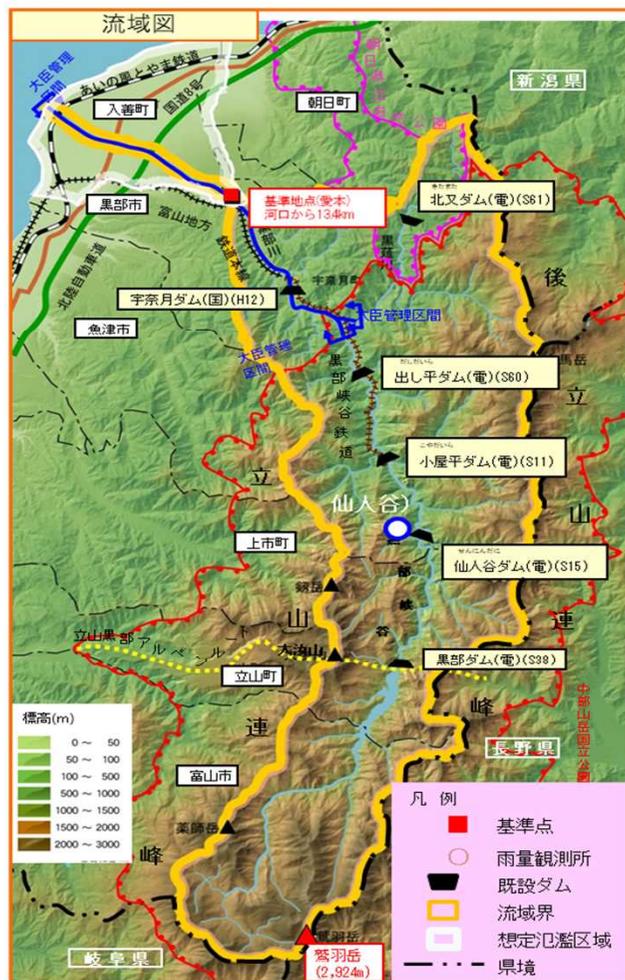
R5年度:河道掘削の実施状況(下黒部橋上流)

(様式:取組事例)

区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	実施機関	黒部河川事務所
メニュー名	既存ダム6ダムによる事前放流等の実施・体制構築		
事業・施策の名称	治水協定の締結(令和2年5月)		
実施場所	黒部川		

【対策概要】

黒部川では、上流域の予測降雨量が390mmが上回ることが想定された場合に、宇奈月ダムのほか、5つの利水ダムで事前放流を行い容量を確保し、洪水調節機能の強化を図る。



黒部川水系の治水協定ダム一覧

ダム名	管理者	基準降雨量	台風等の3日前から低下させて確保できる容量(千m3)
宇奈月ダム	多目的ダム 国土交通省	390mm以上	4,134
北又ダム	利水ダム 北陸電力		296
出し平ダム	利水ダム 関西電力		2,577
小屋平ダム	利水ダム 関西電力		110
仙人谷ダム	利水ダム 関西電力		43
黒部ダム	利水ダム 関西電力		71,979

※実運用については事前放流実施要領による

協定ダムの諸元



宇奈月ダム(H12完成)
国土交通省管理ダム



出し平ダム(S60完成)
関西電力(株)の発電専用ダム



黒部ダム(S38完成)
関西電力(株)の発電専用ダム



小屋平ダム(S11完成)
関西電力(株)の発電専用ダム



仙人谷ダム(S15完成)
関西電力(株)の発電専用ダム

(様式: 取組事例)

区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	実施機関	黒部河川事務所
メニュー名	砂防関係施設の整備(黒部川水系)		
事業・施策の名称	黒部川水系直轄砂防事業		
実施場所	黒部川上流域		

【対策概要】

流出土砂に対する砂防関係施設を整備し、黒部川流域における安全度の向上を図り、観光施設、発電施設、鉄道施設への被害軽減を目指す。

●黒薙川流域

①黒薙川第2号下流砂防堰堤



(完成予想図)



R5年度: 砂防堰堤整備の実施状況

●小黒部谷流域

②小黒部谷第2号砂防堰堤



(完成予想図)



R5年度: 砂防堰堤整備の実施状況



●祖母谷流域

③祖母谷砂防堰堤群改築



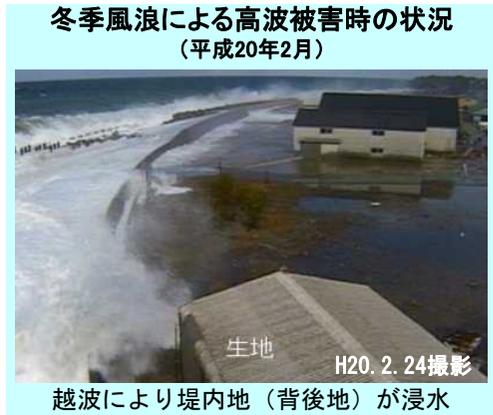
R5年度: 既設砂防堰堤天端補修の実施状況

(様式: 取組事例)

区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	実施機関	黒部河川事務所
メニュー名	海岸保全施設の整備・養浜		
事業・施策の名称	下新川海岸直轄保全施設整備事業		
実施場所	下新川海岸		

【対策概要】

離岸堤、副離岸堤等の海岸保全施設、さらには黒部川からの土砂供給や養浜の組み合わせ等により、将来にわたって進行する侵食を防止するとともに、高波に対して背後地への越波被害を防ぐ。



R5年度: 副離岸堤整備
の実施状況



R5年度: ブロック製作
の実施状況

(様式: 取組事例)

区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	実施機関	黒部河川事務所
メニュー名	連携排砂		
事業・施策の名称	連携排砂(ダム機能の維持、河床低下の防止、海岸侵食の進行抑制)		
実施場所	出し平ダム、宇奈月ダム		

【対策概要】

黒部川は全国有数の流出土砂の多い河川であり、黒部川のダム群の最下流部に位置する出し平ダムと宇奈月ダムでは、ダム機能維持、下流河川の河床低下防止、海岸侵食の進行抑制等を期待し、「より自然な土砂の流れによるダム排砂が必要」として、連携排砂を実施している。

連携排砂の目的

1 ダム機能の維持



2 河床低下の防止



3 海岸侵食の抑制

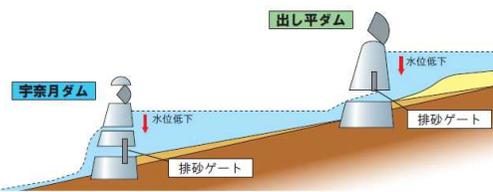


連携排砂の方法

ステップ1

ダムの水位を下げます

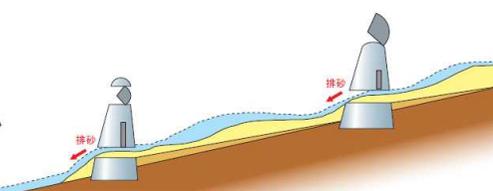
ダム湖内を川の流れにするためにダム湖内の水位を下げます。



ステップ2

土砂を排出します

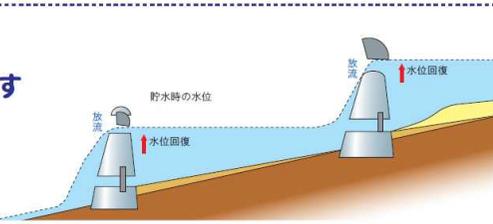
川の流れる力を使い、土砂と水をダム下流に一定の時間排出します。



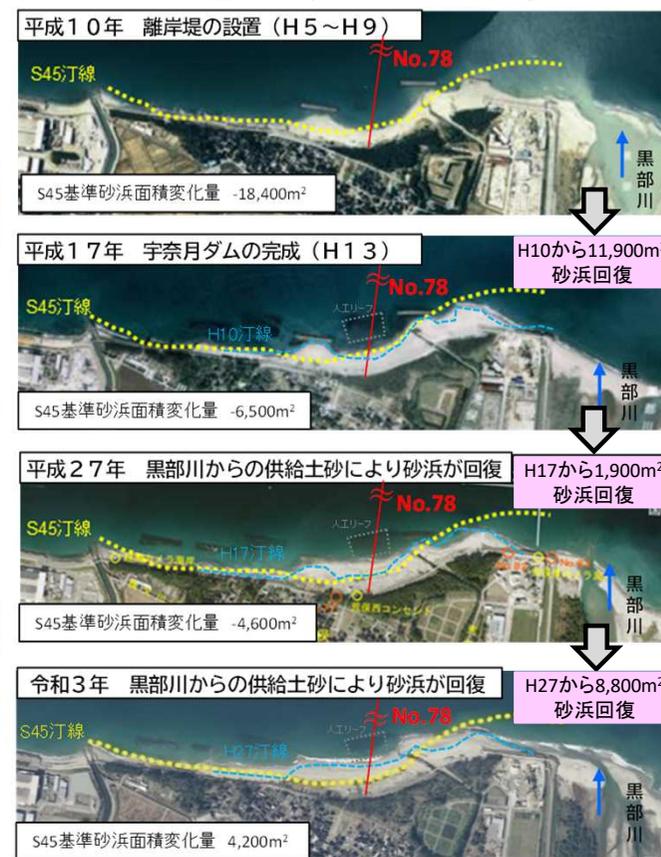
ステップ3

最後にもう一度水を流します

ダム下流の川にたまった細かい土砂を洗い流すために、ダム湖内の水位を回復させ上流からの流水を一定の時間、下流に流します。



連携排砂の効果



(様式:取組事例)

区 分	被害対象を減少させるための対策	実施機関	黒部河川事務所
メニュー名	霞堤の保全		
事業・施策の名称	霞堤の機能維持(減災への取組)		
実施場所	黒部川		

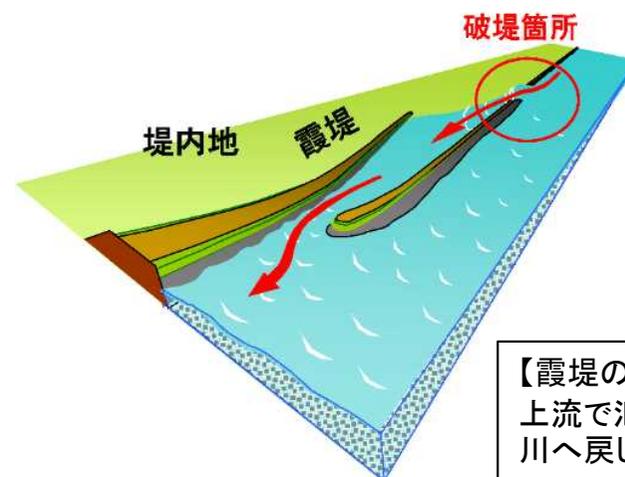
【対策概要】

現存する霞堤について、上流で氾濫した水を開口部から速やかに川へ戻し、被害の拡大を防ぐ等の治水上の機能があるため、適切な維持、保全を図ります。

また、霞堤の機能維持を考慮した開口部周辺の土地利用等についても関係事業者や関係機関とも連絡、調整し、霞堤を活かした水害に強い沿川地域づくりを目指します。



黒部川における霞堤



【霞堤の効果】
上流で氾濫した水を開口部から川へ戻し、被害の拡大を防止

※関係機関(黒部市 等)と立地適正化計画見直しに係る調整等を実施
※黒部川水系河川整備計画の変更では、霞堤の延伸や堤防断面の拡大等の対策も盛り込まれた内容にて策定を目指す

(様式: 取組事例)

区分	被害軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	黒部河川事務所
メニュー名	マイ・タイムラインの作成及び普及		
事業・施策の名称	マイ・タイムラインの普及		
実施場所・対象者	黒部河川事務所管内		

【対策概要】

集中豪雨等の発生開始後、河川の水位が上昇してから、ご自身がとる防災行動を時系列で整理し、取りまとめる「マイ・タイムライン」を多くの県民に知ってもらうことを目的とした、『みんなでタイムラインプロジェクト・とやま』の取り組みを、令和2年4月より国土交通省富山河川国道事務所、黒部河川事務所、北陸技術事務所の3事務所合同で取り組んでいます。

みんなでつくろう！
マイ・タイムライン

～マイ・タイムラインをつくるためのヒント集～




マイタイムライン作成に係る講習会(黒部市浦山地区)
(R5.7.15)

(様式: 取組事例)

区分	被害軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	黒部河川事務所
メニュー名	水防災教育(出前講座の活用)		
事業・施策の名称	出前講座等の活用		
実施場所・対象者	管内の小学校		

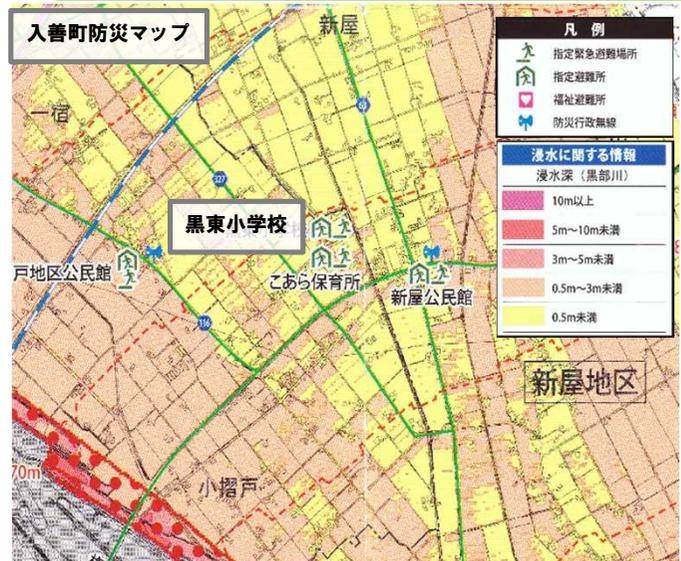
【対策概要】

自然災害から命を守るためには、一人一人が災害時において適切な避難行動をとる能力を養う必要があることから、学校における防災教育の充実を図り、特に「命を守る」という観点に留意し、子供たちに正確な理解を進める。



説明する様子(黒部河川事務所職員)

生徒が自ら調べ、生徒同士で教え合うことも期待し、説明時には伝えすぎない内容とすること、質問時間を確保し生徒自ら考えてもらうよう促すなど、先生と意見交換のうえ防災教育内容を決定。



黒東小が浸水したら(50cm)



作成したスライドの例

[北陸地方整備局ホームページ「ふれあいプログラムまなVIVA」](https://www.hrr.mlit.go.jp/tiiki/manaviva/index.html)

整備局の事業や施策の理解を深めてもらうために、職員が出向いて説明する『出前講座』を紹介

<https://www.hrr.mlit.go.jp/tiiki/manaviva/index.html>

(様式: 取組事例)

区分	被害軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	黒部河川事務所
メニュー名	水位計・監視カメラの活用		
事業・施策の名称	水位計・監視カメラの活用		
実施場所・対象者	黒部河川事務所管内		

【対策概要】

黒部河川事務所ホームページにおいて、住民等への防災情報の提供として河川水位・洪水予報・ライブ映像等を提供しています。



海岸

河川



(下新川海岸の波浪状況)



(黒部川の増水状況)

ライブカメラによる情報提供

今日の愛本

愛本基準観測所 (1時間毎)

水位 10時 124.25m (速報値)
 流量 10時 5.90m³/s (速報値)

基準観測所流量(単位:m³/s)

	愛本下流	愛本上流
はん濫危険流量	3,800	2,500
避難判断流量	3,100	1,600
はん濫注意流量	700	700
水防団待機流量	550	550

基準観測所流量の解説
 川の防災情報(水位情報)
 はここから

観測所情報

最新観測値 2022/12/06 11:00

河川横断面 水位グラフ 河川カメラ 詳細情報

水位 124.25m

(EL=248.05m)
 水位標のゼロ点高(EL=123.8m)

全体 拡大 時間毎 10分毎 凡例

上流観測所

水位	124.25m↑
190.65m→	

水位情報等の情報提供

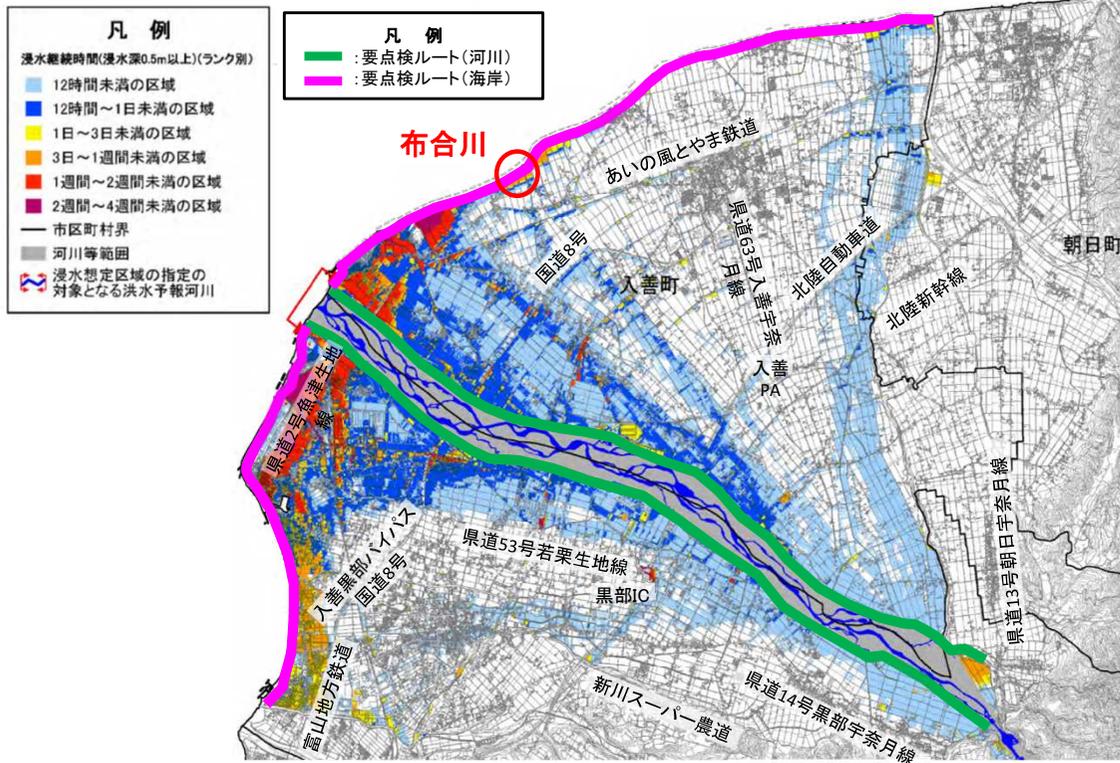
(様式: 取組事例)

区分	被害軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	黒部河川事務所
メニュー名	緊急輸送ルート確保(河川管理・海岸工事用道路の整備・活用)		
事業・施策の名称	黒部川河川改修事業、下新川海岸直轄保全施設整備事業		
実施場所・対象者	下新川海岸		

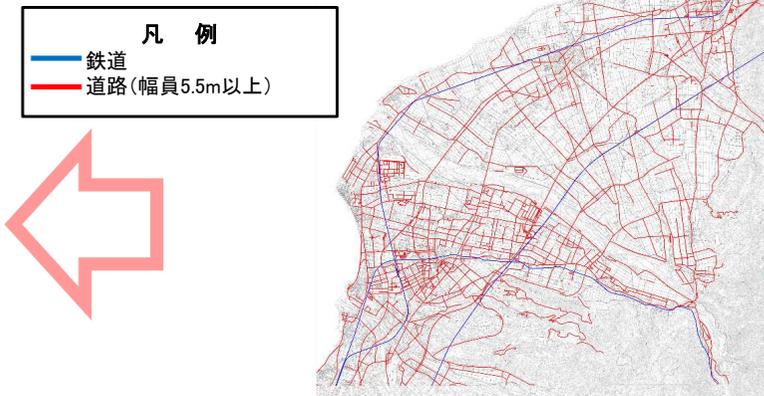
【対策概要】

黒部川の土砂・洪水氾濫により氾濫域内の道路が一部使用不能となり、早期復旧・復興に必要な資機材の運搬が困難となる場合が想定される。このため、緊急輸送ルートの確保の観点から、周囲に比べて標高の高い黒部川・下新川海岸の河川管理・海岸工事用通路の整備(狭隘・未舗装箇所)の点検・整備)や活用を図る。

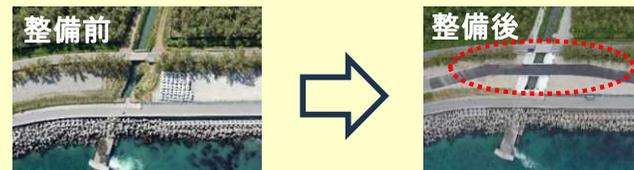
浸水継続時間 (想定最大規模)



扇状地の主な道路



整備事例: 海岸工事用道路の整備 < 布合川のボックス整備 R3・4 >



※令和6年能登半島地震が発生したが、点検の結果、海岸や河川の輸送ルートにおいて特段の異常は確認されていない。

(様式: 取組事例)

区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	富山県 河川課
メニュー名	水位計・監視カメラの活用		
事業・施策の名称	河川状況等ライブカメラ情報		
実施場所	県管理の水位周知河川の水位観測所等		

洪水時における住民の自主避難や市町村長の避難指示等の判断を支援するため、河川監視カメラの画像や県管理の水位周知河川等の水位状況をインターネットを通じて一般公開しているが、R5年3月に危機管理型水位計のリアルタイムデータも同HPで閲覧できるように改修した。

【実施概要】

- ・ 公開開始日:平成30年6月～ (R4.3月リニューアル、R5.3月改修)
- ・ 公開の内容:河川海岸カメラ画像情報(静止画:5分更新)、県管理河川の水位情報等
- ・ 公開HP :「富山県河川海岸カメラ・水位情報」 <http://kawa.pref.toyama.jp/camera>



河川監視カメラ設置状況



富山県河川海岸カメラ・水位情報

地図画面 | **地域別河川状況表** | 地域別カメラ画像一覧 | メインメニュー

現況水位表 | **危機管理型水位表** | R5.3月改修で閲覧可能

新川土木 (魚津市、滑川市) 取得日時: 2023/04/14 16:30

河川名	観測所名	危機管理型水位 (堤防天端からの高さ)	観測開始 水位	危険水位	氾濫開始 水位
角川	月見橋	-3.31m	-2.59m	0.00m	0.00m
坊田川	坊田川	-1.21m	-0.80m	0.00m	0.00m
大座川	大座川	-1.52m	-1.22m	0.00m	0.00m
小川寺川	小川寺川 蛇田	-3.79m	-2.69m	0.00m	0.00m
入川	入川 慶野	-2.05m	-1.60m	0.00m	0.00m
中川放水路	中川放水路 柳原	-5.3m	-3.78m	0.00m	0.00m

入善土木 (朝日町、入善町、黒部市) 取得日時: 2023/04/14 16:30

河川名	観測所名	危機管理型水位 (堤防天端からの高さ)	観測開始 水位	危険水位	氾濫開始 水位
神谷川	神谷川	-2.24m	-1.70m	0.00m	0.00m
寺川	寺川	-1.8m	-1.13m	0.00m	0.00m
平曹川 下飯野	平曹川	-1.32m	→ 0.00m	0.00m	0.00m

(様式: 取組事例)

区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	富山県 河川課
メニュー名	要配慮者利用施設避難確保計画の作成及び支援		
事業・施策の名称	要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進		
実施場所	(対象: 市町村地域防災計画で指定された要配慮者利用施設)		

高齢者福祉施設等の要配慮者利用施設における水害時の円滑かつ迅速な避難の確保を図るため、市町村が開催する施設管理者向け講習会への講師派遣等により、避難確保計画の作成や避難訓練の実施を支援するもの。

【取組実績】

- 令和元年度：南砺市、入善町、黒部市にて講習会
- 令和2年度：魚津市にて講習会
- 令和3年度：富山市にて講習会
- 令和4年度：富山市にて講習会
- 県内の要配慮者利用施設1,693施設中1,417施設（83.7%）で計画を作成済み（R5.9.30時点）



講習会の様子 R4 富山市

様式 1

4 防災体制

【防災体制の構築】

施設種別	種別	担当者	Y10年(計画)
高齢者福祉施設	避難訓練実施		
障害者福祉施設	避難訓練実施		
児童福祉施設	避難訓練実施		

5 施設調査

(1) 施設調査、研修実施及び普及

施設種別	調査済	研修済	普及済
高齢者福祉施設			
障害者福祉施設			
児童福祉施設			

(2) 県内安全確保を行う場合

施設種別	調査済	研修済	普及済
高齢者福祉施設			
障害者福祉施設			
児童福祉施設			

様式 2

4 防災体制

【白紙の防災体制を構築する場合】

施設種別	種別	担当者	Y10年(計画)
高齢者福祉施設	避難訓練実施		
障害者福祉施設	避難訓練実施		
児童福祉施設	避難訓練実施		

5 施設調査

(1) 施設調査、研修実施及び普及

施設種別	調査済	研修済	普及済
高齢者福祉施設			
障害者福祉施設			
児童福祉施設			

(2) 県内安全確保を行う場合

施設種別	調査済	研修済	普及済
高齢者福祉施設			
障害者福祉施設			
児童福祉施設			

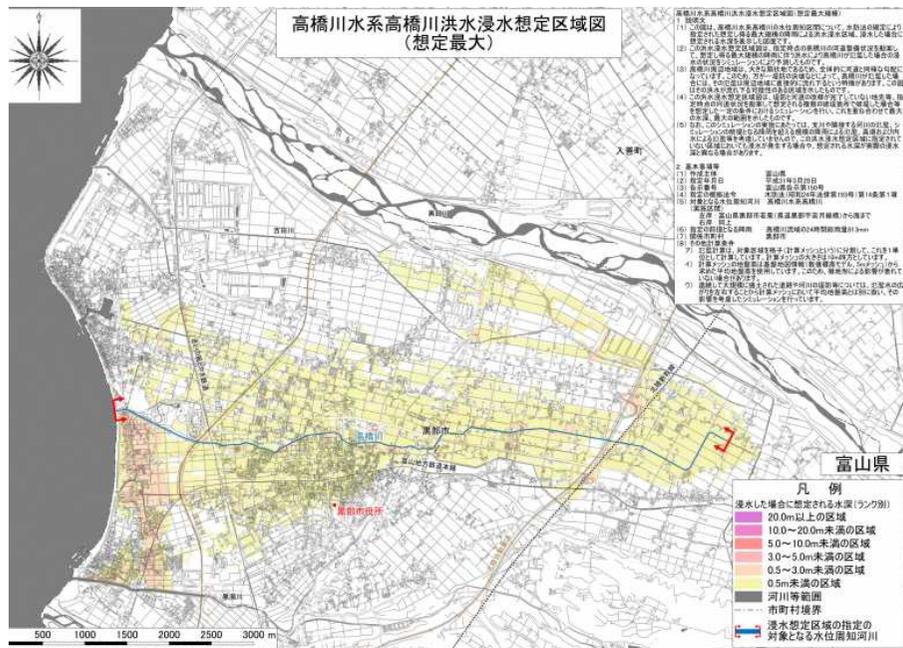
簡易な計画ひな型 (国交省)

(様式: 取組事例)

区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	富山県 河川課
メニュー名	避難のためのハザード情報の整備		
事業・施策の名称	洪水浸水想定区域図の作成		
実施場所	黒部川支流の県管理河川		

令和3年改正水防法に基づき、人家等防護対象が存する全ての河川について、浸水想定区域図の作成が義務付けられました。黒部川支流の県管理河川についても、令和6年度末を目標に洪水浸水想定区域図を作成することを目標に取り組んでいます。

【取組実績】令和4年3月～ 対象河川の選定・解析手法の検討を実施



参考例: 黒部市内を流れる高橋川(水位周知河川)
洪水浸水想定図(想定最大規模)



黒部川支流の河川 (宇奈月温泉付近)

(様式:取組事例)

区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	富山県 河川課
メニュー名	水防災教育(出前講座の活用)		
事業・施策の名称	出前講座等の活用		
実施場所	県内の小学校		

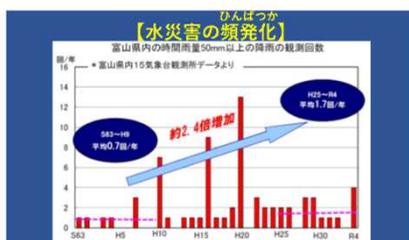
自然災害から命を守るためには、一人一人が災害時において適切な避難行動をとる能力を養う必要があることから、学校における防災教育の充実を図り、特に「命を守る」という観点に留意し、子ども達に正確な理解を進める。

【取組実績】

- ・ 令和5年9月29日 氷見市立比美乃江小学校
- ・ 令和5年10月26日 富山大学附属小学校



上図 左：資料を用いて説明する様子（氷見市立比美乃江小学校）、中央左：現場で説明する様子（氷見市立比美乃江小学校）
中央右：現場で説明する様子（富山大学附属小学校）、右：質疑応答（富山大学附属小学校）



・ 河川流域全体のあらゆる関係者が協働して水災害対策を行う考え方

この場にいる全員が関係者

自分たちが協働して行う水災害対策とは？

神通川水系太田川 河川改修事業

「子ども達に自分たちに何ができるかを自分で考えてほしい」という学校のニーズに合わせて説明スライドを作成・提供した。

(様式: 取組事例)

区 分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	実施機関	富山県 砂防課
メニュー名	砂防関係施設の整備		
事業・施策の名称	砂防関係事業		
実施場所	黒部川流域		

【対策概要】
土砂災害から暮らしを守る砂防関係施設を整備します。

砂防事業



- ・砂防堰堤
- ・床固工
- ・溪流保全工 等

地すべり対策事業



- ・集水井工
- ・横ボーリング工 等



急傾斜地崩壊対策事業



- ・法面工
- ・擁壁工 等

(様式:取組事例)

区 分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	実施機関	新川農林振興センター
メニュー名	森林整備・治山対策		
事業・施策の名称	治山対策(復旧治山事業・治山施設災害復旧事業・県単独治山事業)		
実施場所	黒部市宇奈月町 舟見明日音沢 馬瀬ノ谷地区		

【対策概要】

当地区は、令和2年7月の梅雨前線豪雨により山腹が崩壊し、崩土の一部が黒部川に流出した。

このため、治山工事により、崩壊斜面の拡大及び土砂流出の防止を図る。

【事業内容】

- ・令和3年度～令和5年度
落石防止工(補強土工)及び被覆工・吹付工: 4,038m²
- ・令和6年度
排土・運搬工: 1,600m³
土留工: 3基(生コン130.0m³)
山腹緑化工: 1,500m²



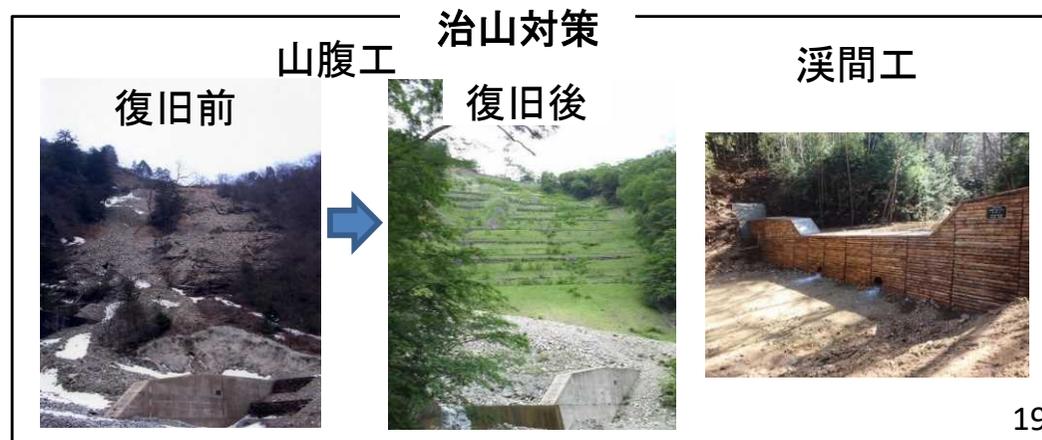
(様式: 取組事例)

区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	実施機関	富山森林管理署
メニュー名	森林整備・治山対策		
事業・施策の名称	国有林野事業(森林整備・治山対策)		
実施場所	黒部川流域の国有林等		

【対策概要】

森林の有する水源涵養機能や土砂流出・崩壊防止機能の向上を図り、流域治水対策を推進します。
 このため、間伐等の森林整備を適時適切に実施するとともに、山地災害等により機能が低下した荒廃地・荒廃森林については機動的に治山対策を実施します。

黒部川流域内の国有林

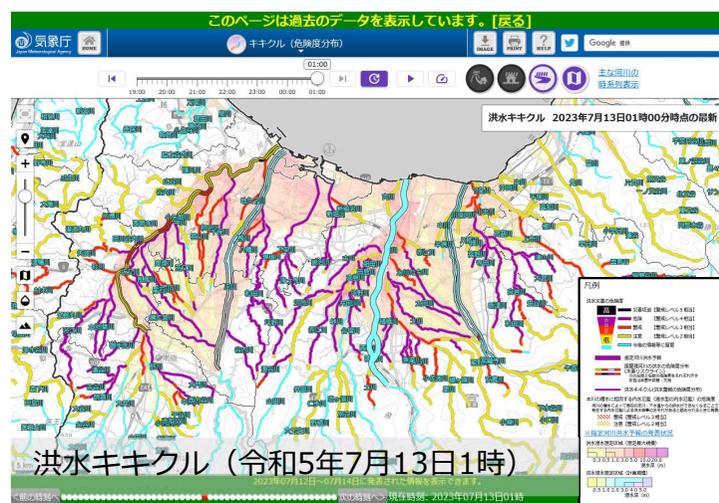
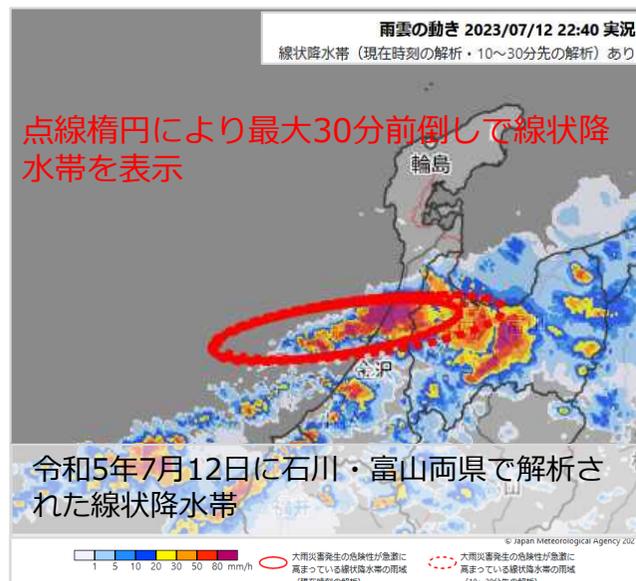


(様式: 取組事例)

区分	被害軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	富山地方気象台
メニュー名	避難のための情報発信		
事業・施策の名称	防災気象情報の提供および解説		
実施場所・対象者	黒部川水系流域・住民		

【対策概要】

- ・「顕著な大雨に関する気象情報」の新たな運用（令和5年5月25日）
予測技術の活用により最大30分程度前倒して「顕著な大雨に関する気象情報」を発表
- ・気象災害発生時に発表した防災気象情報などのアーカイブの公開（令和5年5月23日）
- ・災害発生の可能性が高まった際に気象状況などを解説・助言する気象庁防災対応支援チーム（JETT）の派遣。
- ・防災訓練等の機会を利用して避難判断に必要な防災気象情報の活用について一般住民に解説。
- ・流域での災害事例や雨量に関する知見の蓄積への取り組み（令和5年度は流域平均雨量の検証作業に着手）。



気象庁HPで過去の主な災害時の情報発表状況（雨雲の動きやキキクルなど）が閲覧可能となりました。防災対応の振り返りなどにご活用ください。
<https://www.data.jma.go.jp/yoho/review/>

(様式: 取組事例)

区分	被害対象を減少させるための対策	実施機関	黒部市
メニュー名	立地適正化計画の見直し		
事業・施策の名称	防災指針の追加		
実施場所	(対象: 黒部市都市計画区域内)		

立地適正化計画に防災指針を追加し、ハード・ソフト両面から防災・減災対策に取り組む、災害リスクの低減を図ります。

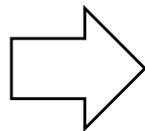
【取組実績】

・防災指針を追加した、黒部市立地適正化計画改訂版について、令和6年3月に公表予定。

主な災害リスクと課題の整理



ハード・ソフト両面から
防災・減災対策に取り組み
災害リスクを低減



具体的な取組

取組方針	具体的な取組	実施主体	実施時期		
			5年	10年	20年
リスク低減(ハード)	市街地整備事業	土地区画整理事業の推進	市	→	
	河川事業	河川改修事業の促進、霞堤の保全※1	国・県・市	→	→
	砂防事業	黒部川上流域などの崩壊対策事業の促進	国・県・市	→	→
	森林整備事業	森林施業・治山工事の推進	県・市	→	→
リスク低減(ソフト)	総合的な都市計画策定とまちづくり	家屋倒壊危険ゾーンの取扱い検討	市	→	
	住環境整備事業	建築物の耐震化への支援・不燃化の促進	市	→	→
	防災対策事業	地域防災体制及び防災基盤の整備推進	市	→	→
		自主防災組織の育成支援	県・市・その他	→	→
		防災情報システムの充実	市	→	→
	災害に対する意識啓発活動の推進	市	→	→	

※1 霞堤は氾濫水を河道に戻す、氾濫拡大を防ぐ機能が期待されるが、霞堤内の盛土や工作物により機能を阻害する可能性がある事から、霞堤の機能を保全するため土地利用のルールについて検討が必要

(様式: 取組事例)

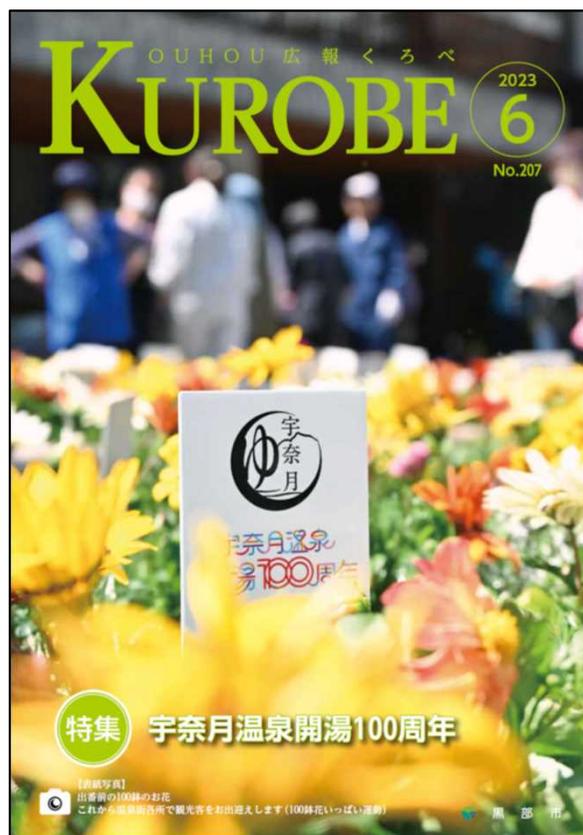
区分	被害軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	黒部市
メニュー名	市広報を活用した周知啓発		
事業・施策の名称	広報への防災・減災に関する記事の掲載		
実施場所・対象者	住民		

【対策概要】

例年、出水期前を目途に、市が発行している広報誌に防災・減災に関する記事を掲載し、住民への周知啓発を図り、被害の軽減に取り組んでいる。

【掲載内容】

- ・避難情報の発信手段の紹介
- ・避難先の検討
- ・ハザードマップの説明
- ・警戒レベルととるべき行動
- ・困ったときの連絡先
- ・災害ポータルサイト(市HP)の紹介



(様式:取組事例)

区 分	被害軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	入善町
メニュー名	水防災教室(出前講座の活用)		
事業・施策の名称	水防出前講座		
実施場所・対象者	町内小学校・小学生		

【対策概要】

社会科授業「災害からくらしを守る」の1コマとして、過去、町で発生した災害、町の防災の取り組みや洪水ハザードマップ等の確認を行った。また、避難所のあり方や家庭でできる備蓄品などについて、生徒同士で様々な意見交換を行った。



(様式:取組事例)

区分	被害軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	入善町
メニュー名	要配慮者利用施設避難確保計画の作成及び支援		
事業・施策の名称	要配慮者利用施設の避難確保計画の作成を促進		
実施場所	(対象:入善町地域防災計画で指定された要配慮者利用施設)		

高齢者福祉施設等の要配慮者利用施設における水害時の円滑かつ迅速な避難の確保を図るため、当該施設の避難確保計画の作成を支援するもの。

【取組実績】

- ・令和5年度において、当該施設に対して避難確保計画の作成支援を実施。
- ・町内の要配慮者利用施設62施設中62施設(100%)で計画を作成済み(R6. 1. 31時点)



様式

4. 防災体制
連絡体制及び防災体制は、以下の通りとする。

【防災体制確立の判断時期及び役割分担】		
体制確立の判断時期	活動内容	対応要員
注意体制確立		
警戒体制確立		
非常体制確立		

表内の事項のほか、統括管理者の指揮命令に従うものとする。

記載例

4. 防災体制
連絡体制及び防災体制は、以下の通りとする。

【防災体制確立の判断時期及び役割分担】			
体制確立の判断時期	活動内容	対応要員	
注意体制確立	以下のいずれかに該当する場合 > ○○○に洪水注意報発表 > ○○○川(○○○観測所地点) 氾濫注意情報発表	洪水予報等の 情報収集 情報収集伝達 要員	
警戒体制確立	以下のいずれかに該当する場合 > ○○地区に高齢者等避難の発 令 > ○○○に洪水警報発表 > ○○○川(○○○観測所地 点) 氾濫警戒情報発表	洪水予報等の 情報収集 使用する資器 材の準備 保護者への事 前連絡 周辺住民への 事前協力依頼 要配慮者の避 難誘導	情報収集伝達 要員 避難誘導要員 情報収集伝達 要員 情報収集伝達 要員 避難誘導要員
非常体制確立	以下のいずれかに該当する場合 > ○○地区に避難指示の発令 > ○○○川(○○○観測所地 点) 氾濫危険情報発表	施設内全体の 避難誘導	避難誘導要員

表内の事項のほか、統括管理者の指揮命令に従うものとする。

(様式: 取組事例)

区分	被害軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	朝日町
メニュー名	出前講座・防災検定を活用した防災啓発		
事業・施策の名称	出前講座・防災検定を活用した防災啓発		
実施場所・対象者	朝日町		

【対策概要】

迫り来る災害において、被害軽減、また一人でも多くの命を救うことは「公助」としての使命であると考えられる。災害発生時には、個々の置かれる状況も千差万別であり、また町職員の数も限られることから、「公助」だけでは限界がある。このことから、一人ひとりの「自助」、自主防災活動などの「共助」のもと、自らの命を守ってもらうことを前提に、地域一体となった防災力の推進・向上を図る。

南保出前講座 R5. 10. 27



マイ・タイムライン (風水害・土砂災害)

個人でいる地域にどんな被害が想定されるかを明確にし、一人ひとりが自分のマイ・タイムラインを作成する。

「いつ」「何をするのか」を整理した個人・家族の防災計画作成に向けた取組

警戒レベル	1	2	3	4	5
状況	大雨に注意	避難準備	避難勧告	避難指示	避難指示(厳戒)
基本的な行動	大雨に注意し、避難準備の指示に従う。	避難準備の指示に従い、避難場所へ移動する。	避難勧告の指示に従い、避難場所へ移動する。	避難指示の指示に従い、避難場所へ移動する。	避難指示(厳戒)の指示に従い、避難場所へ移動する。
避難者と避難	避難場所を確認し、避難準備の指示に従う。	避難準備の指示に従い、避難場所へ移動する。	避難勧告の指示に従い、避難場所へ移動する。	避難指示の指示に従い、避難場所へ移動する。	避難指示(厳戒)の指示に従い、避難場所へ移動する。
避難後の対応	避難場所での安全確認を行う。	避難場所での安全確認を行う。	避難場所での安全確認を行う。	避難場所での安全確認を行う。	避難場所での安全確認を行う。

自分の命も家族の命も自ら守る「自助・共助の確立」

情報収集に努めましょう

★情報の入手先★

アプリ・メールでの情報収集

＜朝日町防災情報アプリ＞
AppStore または Google Play で検索
AppStore (Apple) Google Play (Android)

＜朝日町緊急情報メール＞
【パソコンから登録】
https://mail.cosj.go.jp/asahitown/
【スマートフォンで登録】
asahitown@cosjmail-entry.cosj.go.jp
QRコードからも登録できます。

インターネットでの情報収集

＜朝日町防災情報アプリ＞
https://www.asahitown.go.jp/

＜朝日町緊急情報メール＞
http://www.hkr.mlit.go.jp/toyama/

＜朝日ネット朝山＞
https://www.hkr.mlit.go.jp/toyama/boosanet/

＜朝山県土砂災害情報提供システム＞
https://www.sabo.pref.toyama.lg.jp/

＜気象庁 キキクル (危険度分布)＞
https://www.jma.go.jp/boai/tchik/

＜気象庁 ナフキャスト (雨量の動き・警・発報)＞
https://www.jma.go.jp/boai/nowc/

テレビ (データ放送) での情報収集

地上デジタル放送対応のテレビでは、リモコンの【d】ボタンを押すことで天気予報や災害に関する情報を確認することができる「データ放送」を配信しています。NHKや民放各局で配信されており、河川水位や雨量の状況も知ることが出来ます。

災害に恐れず、勇気を持った防災行動に繋げる「自助・共助の芽生え」

あなた 令和5年の
ほうさいけんてい
防災検定にチャレンジし
防災知識を習得されたこと
を認定します

あさひまち
朝日町

検定終了後は認定証交付



防災検定にチャレンジし、防災についての知識を身につけよう!

・問題は10問あります。
問題をよく読み、①、②、③の中から正しいと思う番号に○を付けてください。

さみさと小学校
年 組 _____
名前 _____

活発な議論や意見発言 防災の授業に対する 前向きな姿勢

さみさと小学校防災検定 R5. 10. 24

